施工説明書

TOTO

洗面化粧台

リモデア
LDSN607型・608型・609型、LDSN707型・708型・709型、LDSN757型・758型・759型

製品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容にそって正しく取り付けてください。
取付後は、お客様にご使用方法を十分に説明してください

1 安全上の注意

- 取付前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。
- この説明書では、商品を安全に正しく取り付けていただくために、必ずお守りいただくことを、お知らせしています。
  使用者や他の人々への危害や物的損害を未然に防止するために、必ずお守りください。

表示	意味
⚠ 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

⃠	⃠は、してはいけない「禁止」内容です。	❗	❗は、必ず実行していただく「強制」内容です。

- 本体に付属されている取扱説明書は、お客様にお渡しする大切な書類です。
  紛失や汚れが生じないように大切に保管し、取付工事完了後、引き渡し時にお客様にお渡しください。

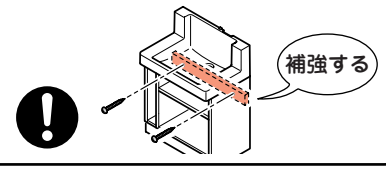
⚠ 警告

電気配線工事・給排水工事は、関連する法令にしたがって、必ず「有資格者・業者」が行う
火災や感電および漏水の原因になります。

浴室など湿気の多い場所へ設置しない
漏電により感電するおそれがあります。

⚠ 警告

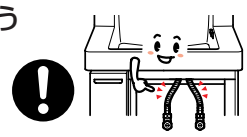
壁固定ねじ取付位置に木桟を入れて補強する
キャビネットが転倒しけがをするおそれがあります。



⚠ 注意

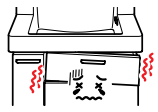
湯・水を逆さに配管しない
水側でいきなり湯が出て、火傷をするおそれがあります。

凍結のおそれがある地域では、必ず凍結防止工事を行う
凍結破損で漏水し家財などに損害を与えるおそれがあります。



工事完了後、給排水管から漏水がないかを必ず確認する
漏水を起こすと、家財などに損害を与えるおそれがあります。

工事完了後、キャビネットの固定・扉の傾き・がたつき・丁番のゆるみがないかを必ず確認する
使用中に扉が落下してけがをするおそれがあります。



2 工事寸法

- 特殊品の場合の工事寸法は、承認図を確認してください。
- 壁排水の場合は、壁排水トラップは付属していませんのでL095をご購入ください。
- 別途、梱包の止水栓をご使用ください。

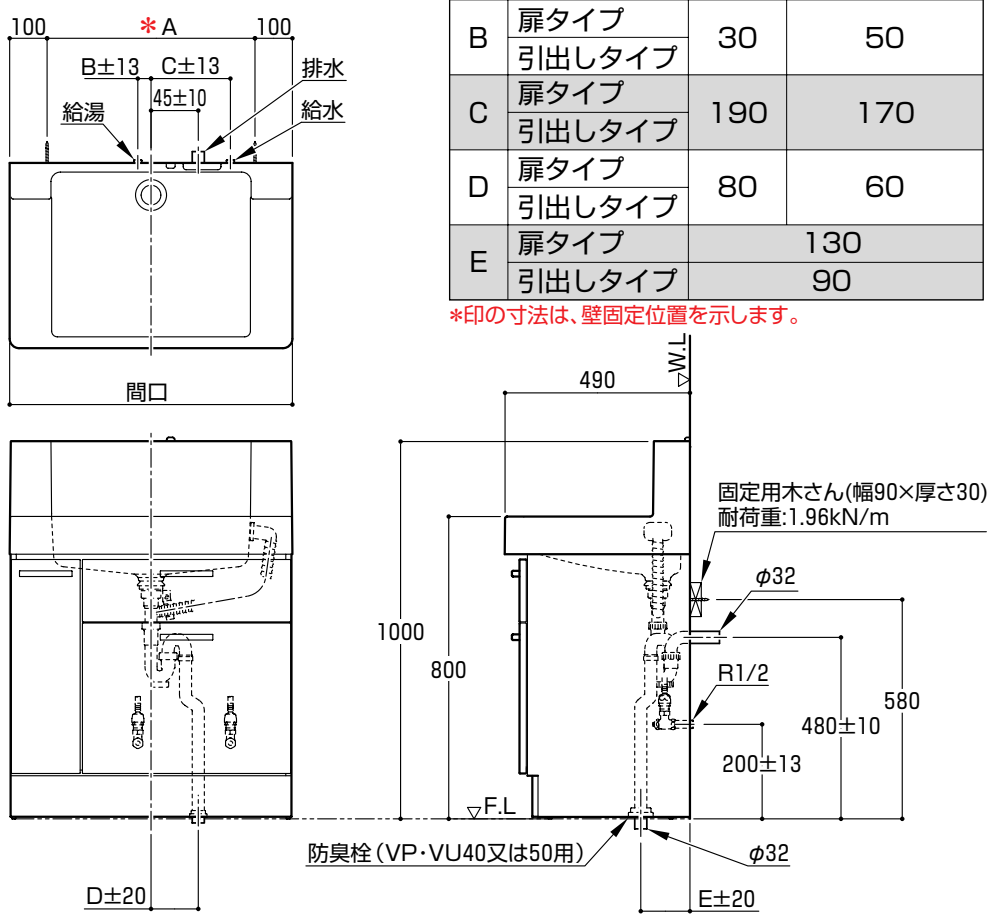
【壁給水の場合】

※本図はLDSN757B*#を示します。その他の機種は外観形状が若干異なります。

引き出しタイプ
LDSN607/707/757B*#
扉タイプ
LDSN608/708/758*#
LDSN609/709/759B*#

間口		600	700	750
*A		400	500	550
B	扉タイプ	30	50	
	引出しタイプ			
C	扉タイプ	190	170	
	引出しタイプ			
D	扉タイプ	80	60	
	引出しタイプ			
E	扉タイプ	130		
	引出しタイプ	90		

*印の寸法は、壁固定位置を示します。



【床給水・配管王の場合】

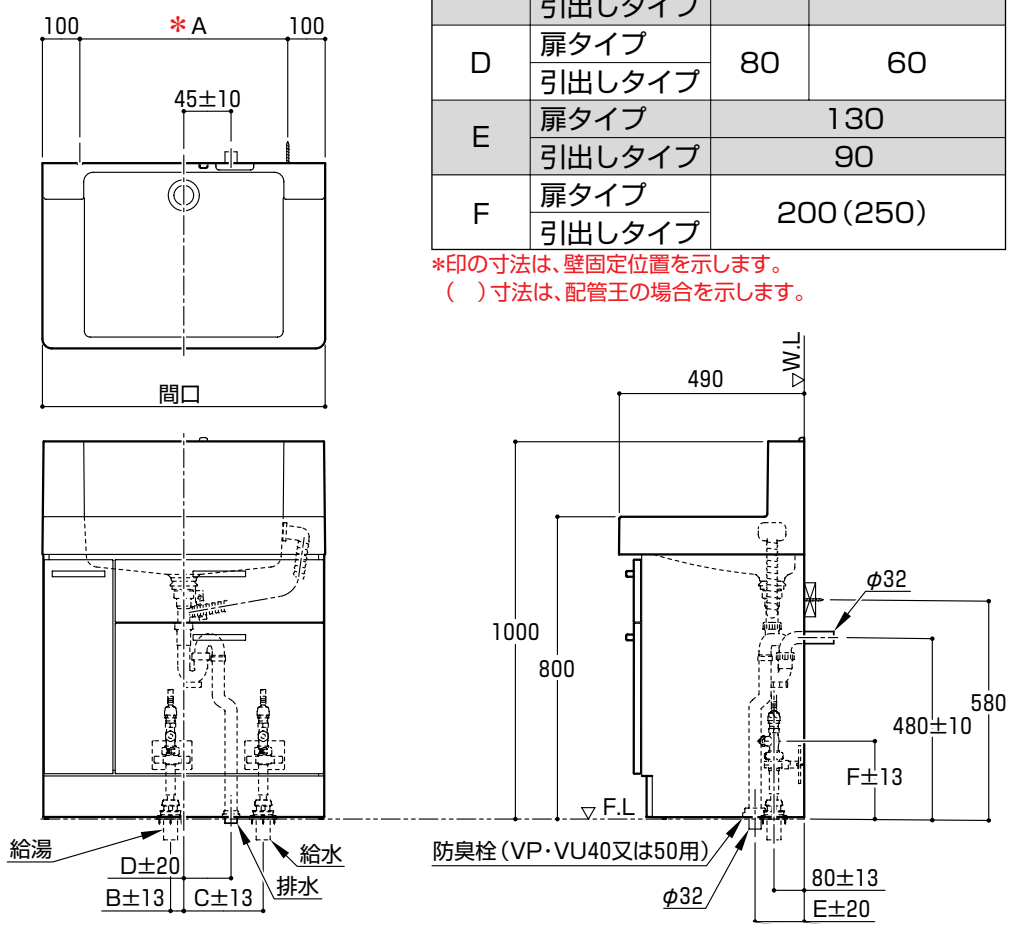
- 配管王をご使用の場合は、TSAS4BJKXAをご購入ください。

※配管王とは、TOTOの樹脂配管システムです。

引き出しタイプ
LDSN607/707/757B*#
扉タイプ
LDSN608/708/758*#
LDSN609/709/759B*#

間口		600	700	750
*A		400	500	550
B	扉タイプ	30	50	
	引出しタイプ			
C	扉タイプ	190	170	
	引出しタイプ			
D	扉タイプ	80	60	
	引出しタイプ			
E	扉タイプ	130		
	引出しタイプ	90		
F	扉タイプ	200(250)		
	引出しタイプ			

*印の寸法は、壁固定位置を示します。
( )寸法は、配管王の場合を示します。



2）工事寸法【体重計収納付タイプ】

- 特殊品の場合の工事寸法は、承認図を確認してください。
- 壁排水の場合は、壁排水トラップは付属していませんのでL095をご購入ください。
- 別途、梱包の止水栓をご使用ください。

【壁給水の場合】

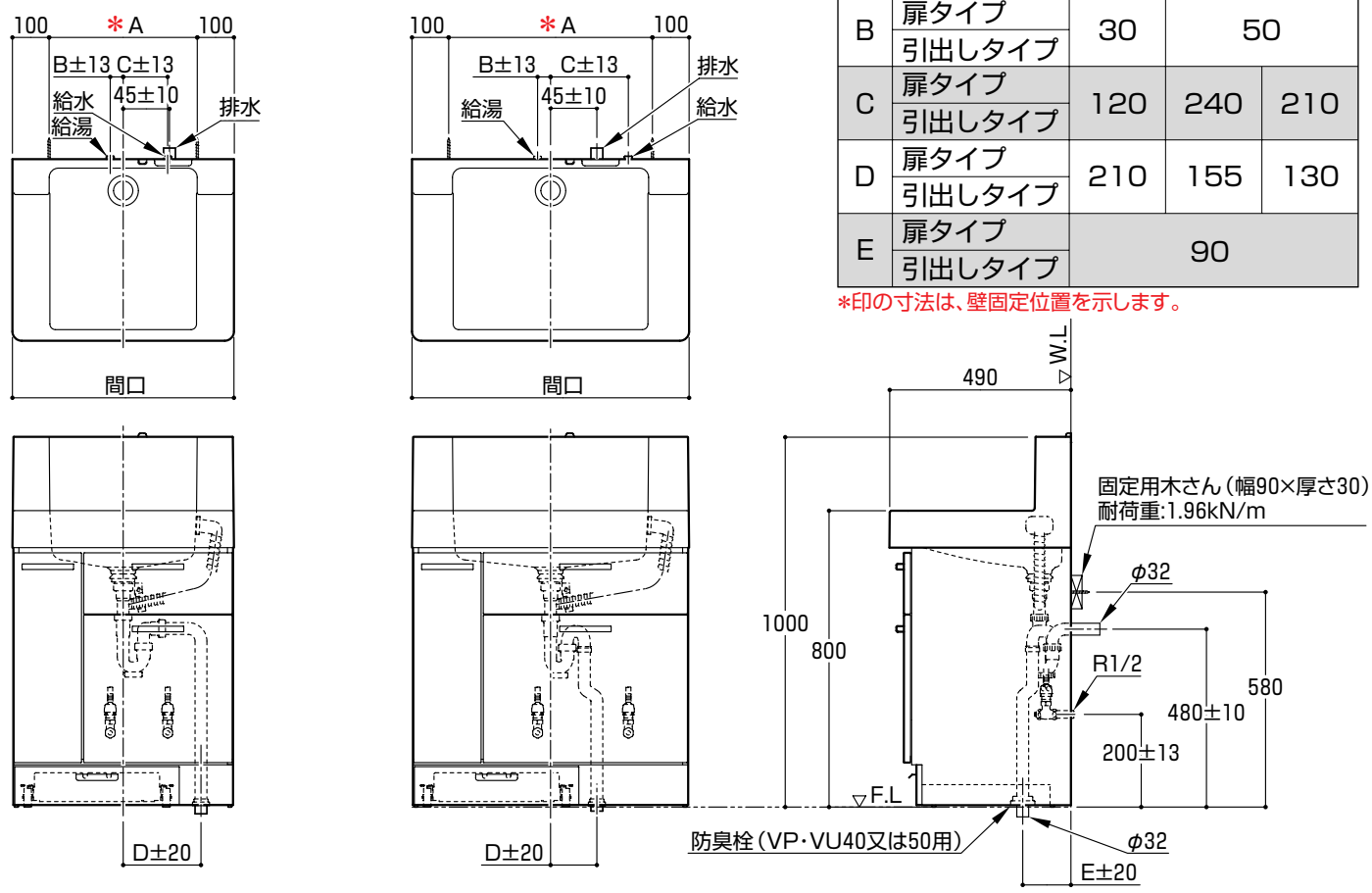
※本図はLDSN607/757B*H#を示します。その他の機種は外観形状が若干異なります。

引き出しタイプ
LDSN607B*H#
扉タイプ
LDSN608B*H#
LDSN609B*H#
の場合のみ

引き出しタイプ
LDSN707/757B*H#
扉タイプ
LDSN708/758B*H#
LDSN709/759B*H#
の場合

間口		600	700	750
*A		400	500	550
B	扉タイプ 引出しタイプ	30	50	
C	扉タイプ 引出しタイプ	120	240	210
D	扉タイプ 引出しタイプ	210	155	130
E	扉タイプ 引出しタイプ	90		

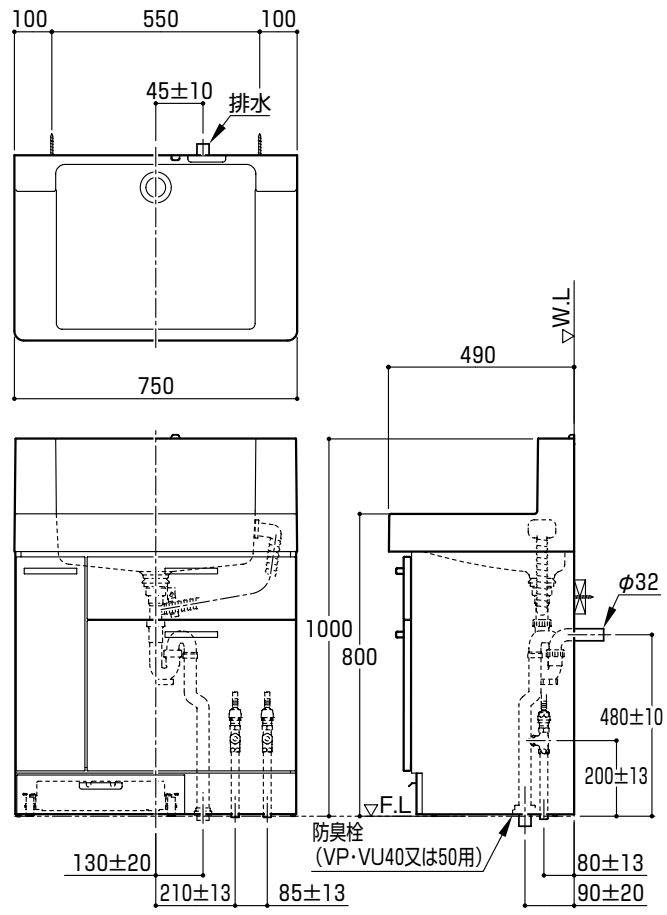
*印の寸法は、壁固定位置を示します。



【床給水の場合】

※配管王のご使用は、できません。
※配管王とは、TOTOの樹脂配管システムです。
※LDSN60***HQ#、LDSN70***HQ#の床給水は、設置できません。

引き出しタイプ
LDSN757B*HQ#
LDSN758B*HQ#
LDSN759B*HQ#
の場合のみ



3）付属部品明細

【洗面化粧台】

	名　称		数　量	備　考
1	排水トラップ		1セット	LDSN60***H型タイプ以外
			1セット	LDSN60***H型タイプ
2	給水ふた		2個	
3	排水ふた		1個	
4	防臭栓		1個	
5	ふた用木ねじ（φ3×12）		7本	
6	壁固定用木ねじ（φ5.2×55）		2本	
7	取扱説明書（保証書付）		1冊	
8	体重計収納		1台	LDSN60***H型～LDSN75***H型タイプ
9	網カゴ	※LDSN608型とLDSN708・LDSN758型は、形状が若干異なります。	1個	LDSN608型～LDSN758型タイプ
10	網カゴ用固定ねじ（φ4×14）		4本	
11	スペーサー		2個	間仕切り壁の横に設置する場合

※水栓金具、止水栓は別梱包です。

4）使用条件

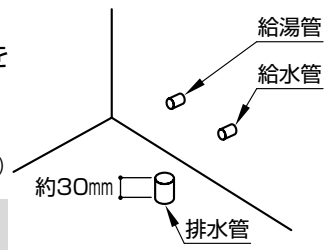
- 水栓金具の使用条件は水栓金具の施工説明書をご参照ください。

5）設置上の注意

- 湿気の多い場所では、木部が膨潤するおそれがありますので設置しないでください。
  特に浴室内には、設置しないでください。
- 直射日光にさらされる場合は必ずカーテンなどでさえぎってください。
- 取り付けは必ず平滑な壁面としてください。

6）取付前の準備

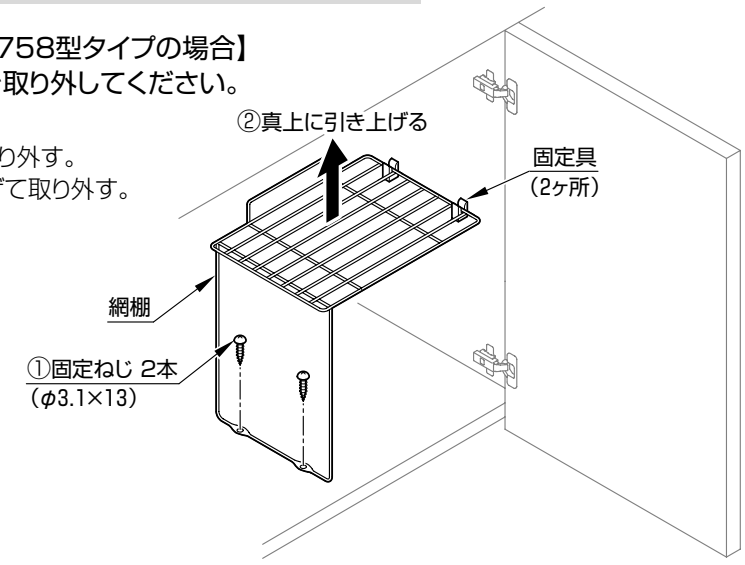
- キャビネットの壁固定部分には、壁面に固定用木桟を入れてください。
  （壁面に固定用木桟が取り付けられない場合は、前面に厚み12mm以上のJAS規格品の板を強固に取り付けてください。）
- 器具を取り付ける前に必ず給水・給湯管内のごみ、砂などを完全に洗い流してください。
- 排水管を所定の位置に取り出してください。
  （排水管はVU40、VU50またはVP40、VP50をご使用ください。）



※排水管と仕上げ面の取り出し穴にすき間がある場合は、メジシールでシールしてください。

【LDSN608型～LDSN758型タイプの場合】
- キャビネット内の網棚を取り外してください。

【網棚の取り外しかた】
①固定ねじ（2ヶ所）を取り外す。
②網棚を真上に引き上げて取り外す。



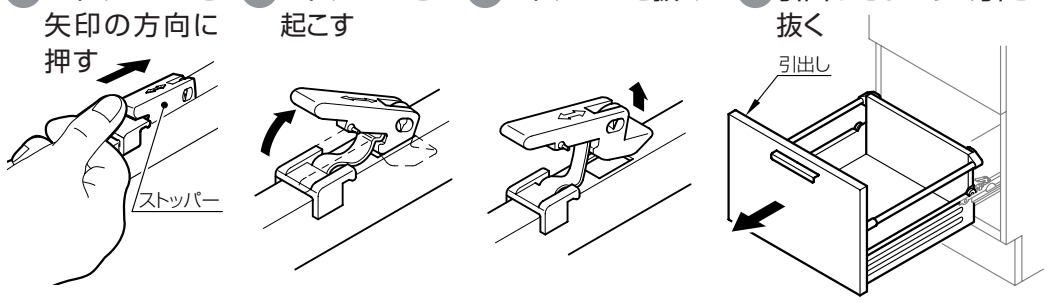
裏面に続く ➡

7）取付手順（番号順に取り付けてください。）

❶引き出しの取り外しかたと入れかた（LDSN607型～LDSN757型タイプの場合）

【引出しの取り外しかた】

❶ストッパーを矢印の方向に押す　❷ストッパーを起こす　❸ストッパーを抜く　❹引出しをまっすぐ引き抜く



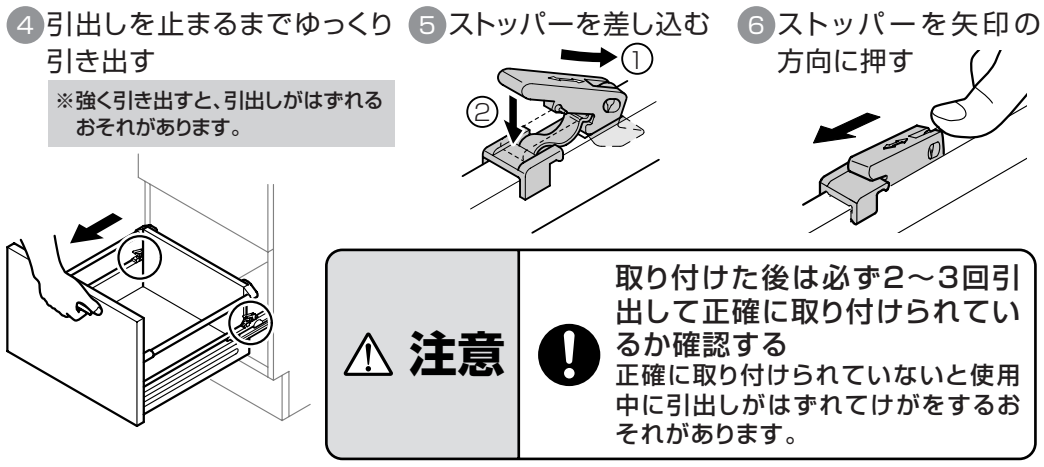
【引出しの取り付けかた】

❶キャビネット側のレールをいっぱいまで引き出す　❷引出しのローラーをレールにはめ、引出しを取り付ける　❸引出しを奥まで押す

❹引出しを止まるまでゆっくり引き出す

※強く引き出すと、引出しがはずれるおそれがあります。

❺ストッパーを差し込む　❻ストッパーを矢印の方向に押す



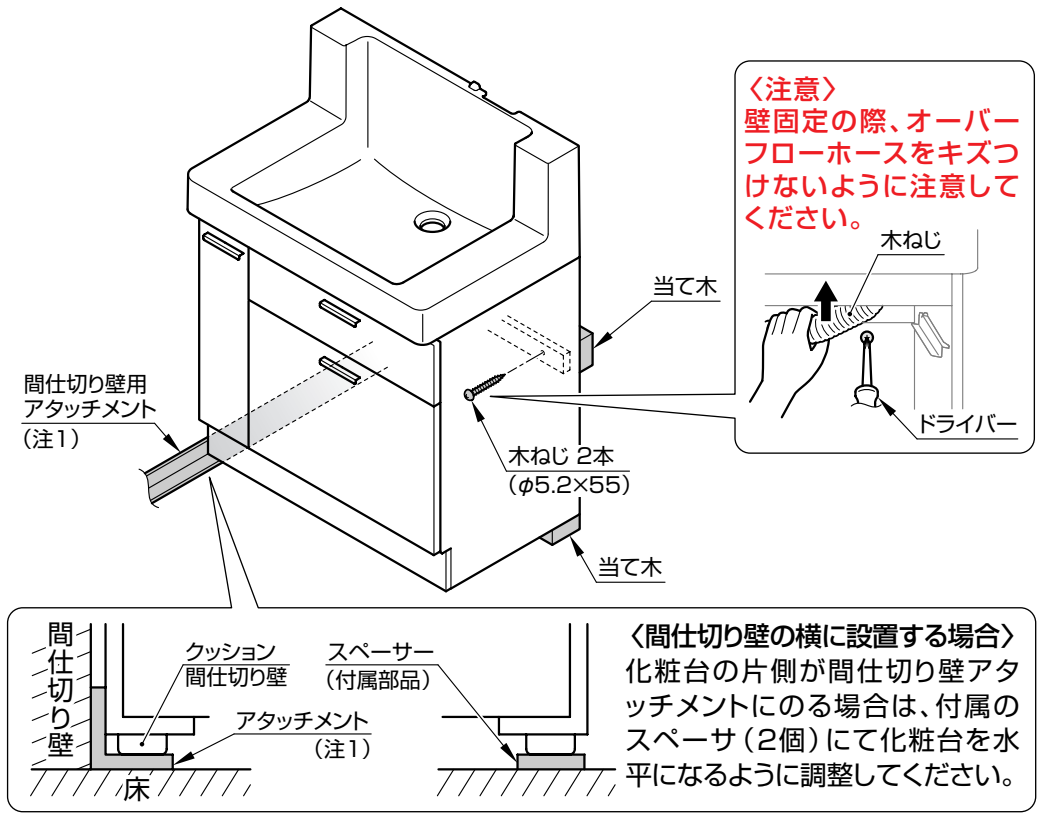
⚠注意　取り付けた後は必ず2～3回引出して正確に取り付けられているか確認する
正確に取り付けられていないと使用中に引出しがはずれてけがをするおそれがあります。

❷給・排水穴の穴あけ

- 給水・排水管の位置に合わせ化粧台に給水、給湯穴（φ52×2）、排水穴（φ90）を穴あけしてください。
- 配管王の場合は、給水・給湯穴（φ70×2）、排水穴（φ95）としてください。

❸化粧台の取り付け

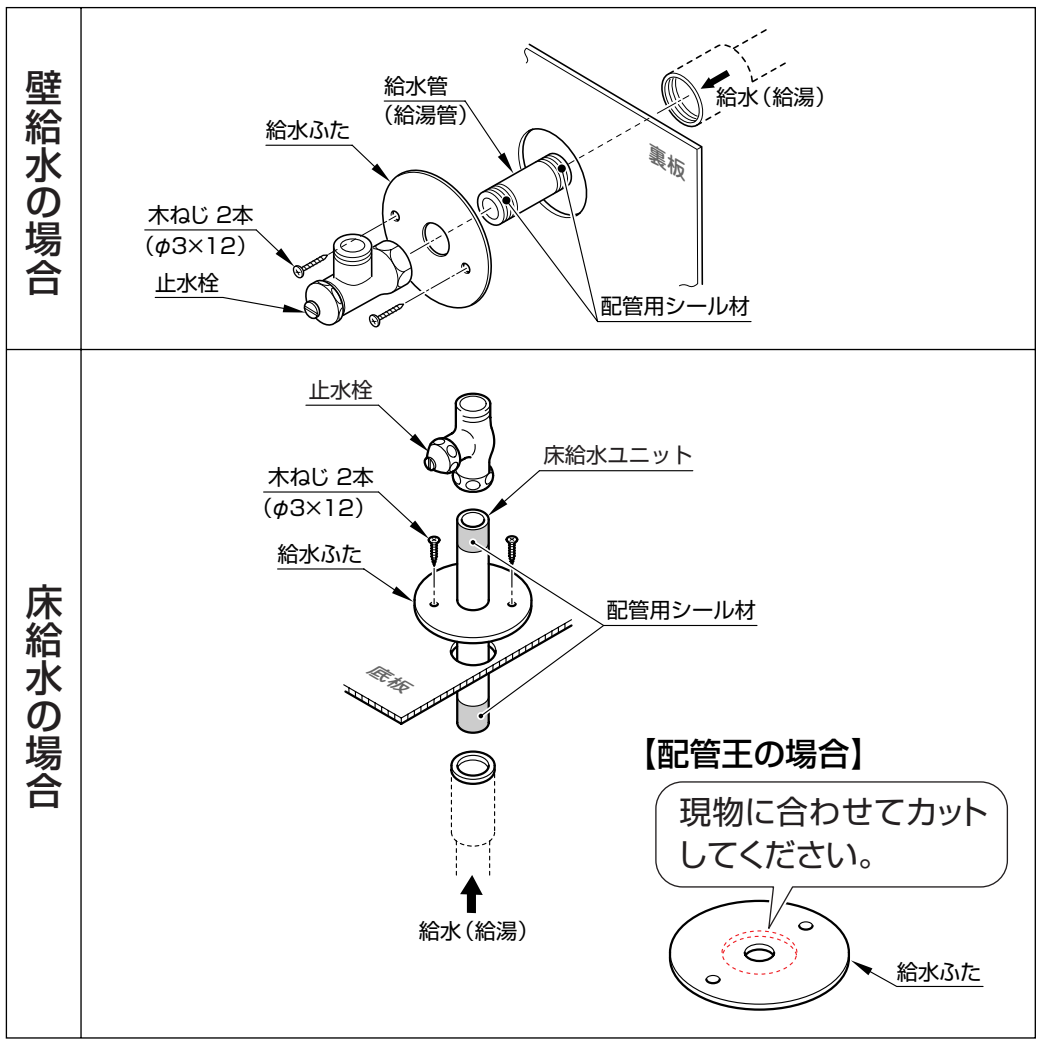
- 付属の木ねじ（2本 φ5.2×55）で壁に固定してください。
  ※床が水平でない場合には扉・引き出し前板に段差ができるおそれがありますので、丁番・引き出し前板を調整して段差をなくしてください。（調整要領をご参照ください。）
  それでも良くならない場合は当て木をして水平になるように調整してください。
- タイル・コンクリート壁の場合は、現物に合わせて木ねじ位置に下穴をあけ、木ねじ用プラグを打ち込んでおいてください。
  （プラグ用の下穴は必ずご使用プラグ指定のドリル径であけてください。）



（注1）アタッチメントは「ひろがる洗面間仕切りユニット（セレクト記号:RMA13）」が施工された時のみ設置される部材です。

❹止水栓の取り付け（別梱包の止水栓をご使用ください。）

- 止水栓は工具で確実に締め付けてください。
- 配管王対応はTSA4BJKXに付属の施工説明書を参照してください。



❹水栓金具の給水・給湯接続

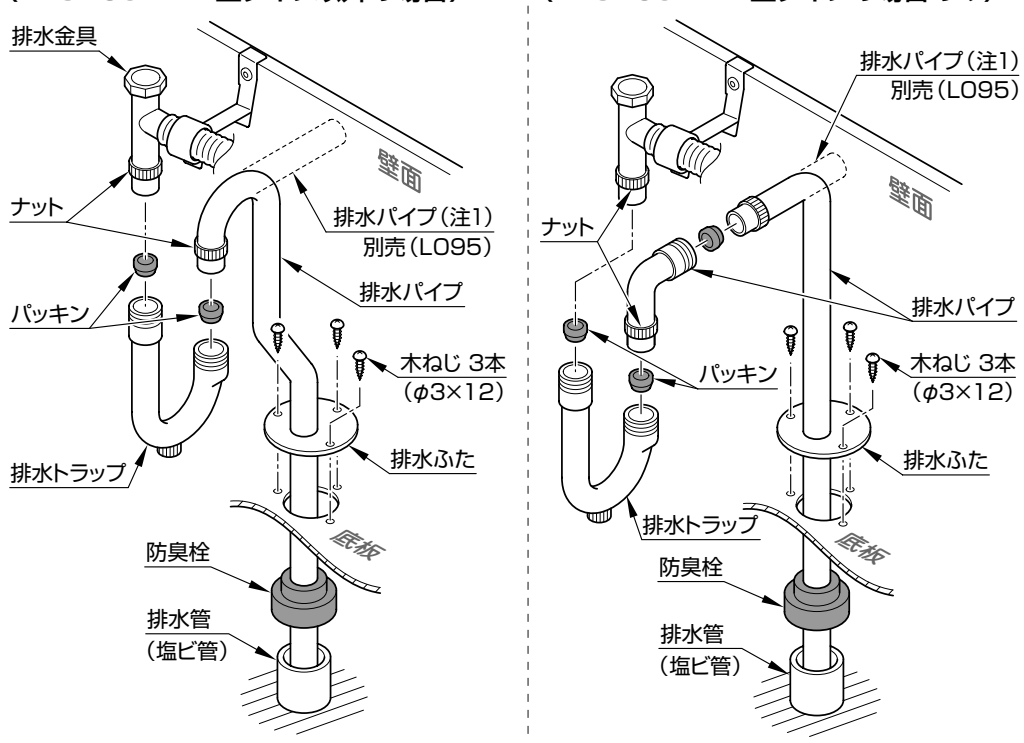
- 取り付けについては、水栓金具の施工説明書をご参照ください。

❺排水トラップの取り付け

- ナットは手で確実に締め付けてください。（工具は使用しないでください。）
- 床排水トラップの場合は、排水管に防臭栓をはめてトラップを差し込んでください。
- 集合住宅・高層住宅の場合、排水管とトラップの別売のアダプタ（下表）で確実に接合してください。

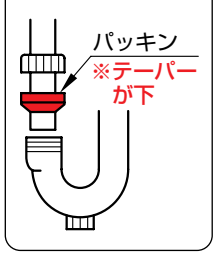
【床排水の場合】

〈LDSN60＊＊＊H型タイプ以外の場合〉　〈LDSN60＊＊＊H型タイプの場合のみ〉

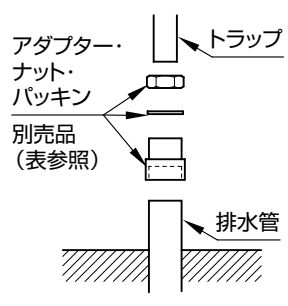


（注1）壁排水の場合は、排水パイプ（L095）を別途手配してください。

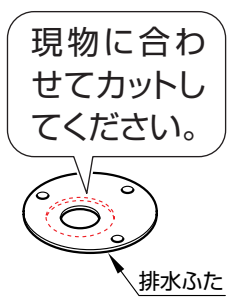
※パッキンの方向に注意してください。



【アダプター接続の場合】



アダプタの種類	サイズ
T1122（鋼管用）	R1 1/4
T1122J（塩ビ管用）	30用
L048（塩ビ管用）	40用
L049（塩ビ管用）	50用



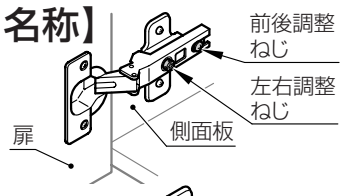
❻扉・前板の調整

⚠注意

扉・前板の調整のときは、扉・前板が落下しないように行う
調整後は必ず、前後調整ねじや固定ねじをしっかり締め付けてゆるみがないことを確認する。
締め付けてない場合は、扉・前板が外れて、けがの原因となります。

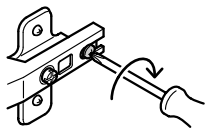
【扉の調整】
（LDSN608型～LDSN759型タイプの場合）
キャビネットの扉がずれたときは、丁番で調整してください。

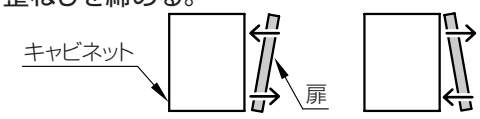
【各部の名称】



前後調整

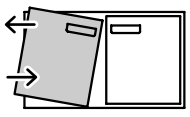
前後調整ねじをゆるめて前後調整した後、前後調整ねじを締める。





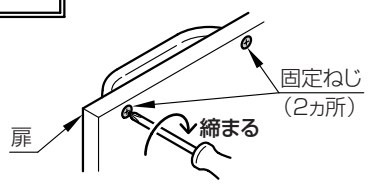
左右調整

左右調整ねじを回して、左右の傾きを調整する。



図のような場合
上は左回し、下は右回し

【取っ手の固定ねじ締め付け方法】
取っ手にがたつきがある場合は、下図にしたがって固定ねじを締め付ける。



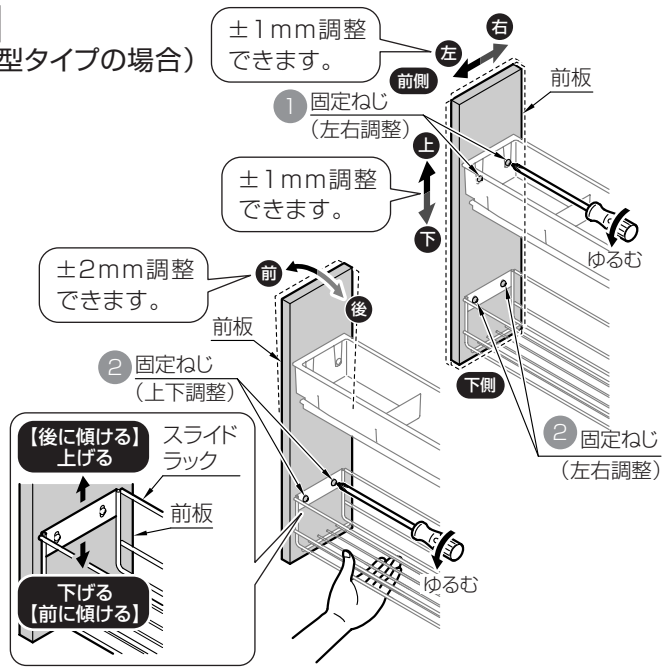
【左引出し前板の調整】
（LDSN607型～LDSN757型タイプの場合）

上下左右調整

固定ねじ❶❷（上下各2本）を⊕ドライバーでゆるめて、前板を上下左右に動かし、調整してください。調整後、固定ねじを確実に締め付けてください。

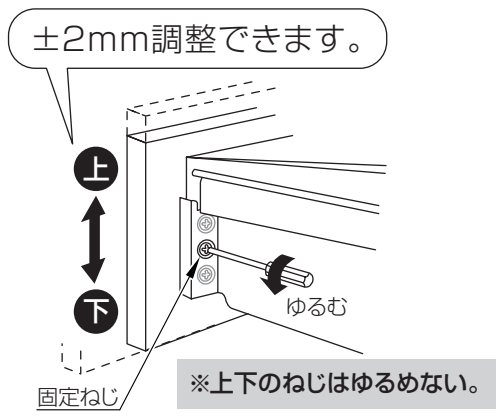
前後の倒れ調整

固定ねじ❷（2本）を⊕ドライバーでゆるめて、スライドラックを上下に動かし、調整してください。
調整後、固定ねじを確実に締め付けてください。

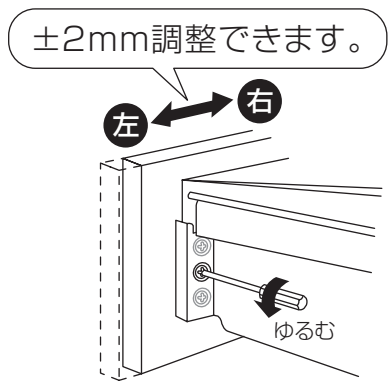


【上段右引出しの調整】（LDSN607型～LDSN757型タイプの場合）
●引出し側面にある固定ねじ左右2ヵ所を、前板が動く程度にゆるめ調整してください。

上下調整



左右調整



【下段右引出しの調整】（LDSN607型～LDSN757型タイプの場合）

左右調整

固定ねじ❶（左右各2本）を⊕ドライバーでゆるめて、前板を左右に動かし、調整してください。
調整後、固定ねじを確実に締め付けてください。

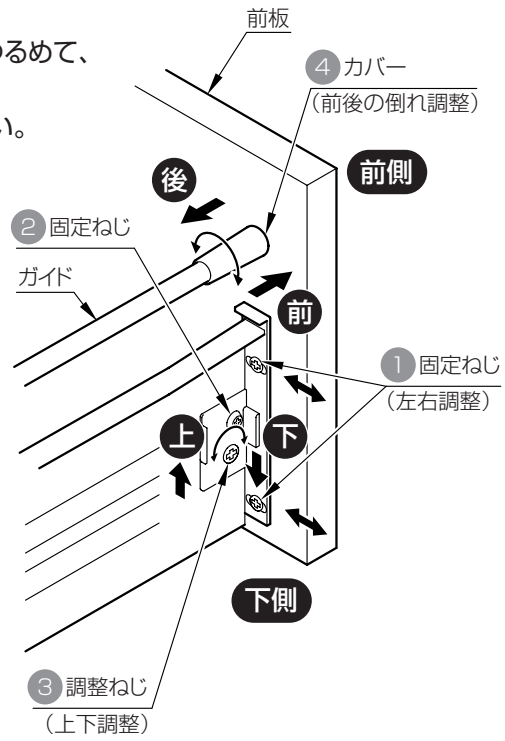
上下調整

固定ねじ❷を⊕ドライバーでゆるめてください。
調整ねじ❸を回してください。
（右に回すと前板が下がり、左に回すと上に動きます）
調整後、固定ねじを確実に締め付けてください。

前後の倒れ調整

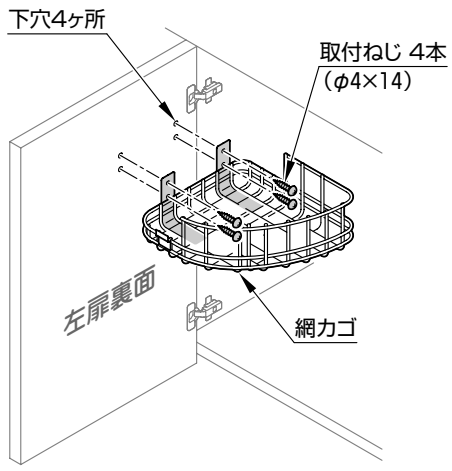
カバー❹を右に回すと前板が前に倒れ左に回すと後ろに倒れます。

※機種によっては、ガイド・カバーのないものがあります。

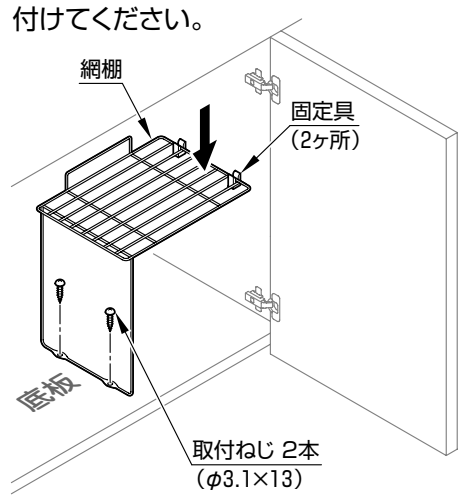


❽網カゴ・網棚の取り付け
（LDSN608型～LDSN758型タイプの場合）

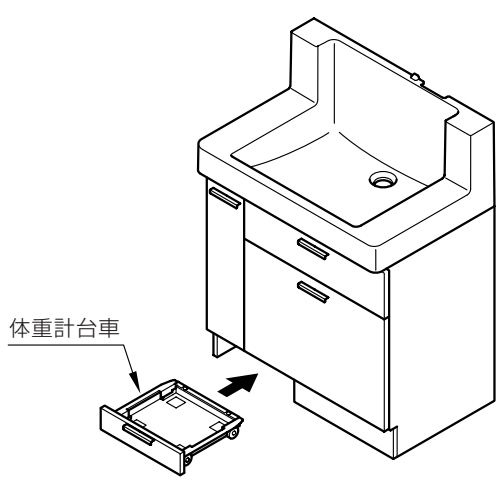
【網カゴの取り付け】
●左扉裏面の下穴（4ヶ所）に、取付ねじ（4個）にて回転棚を取り付けてください。



【網棚の取り付け】
●事前に取り外した網棚を元の位置に取り付けてください。

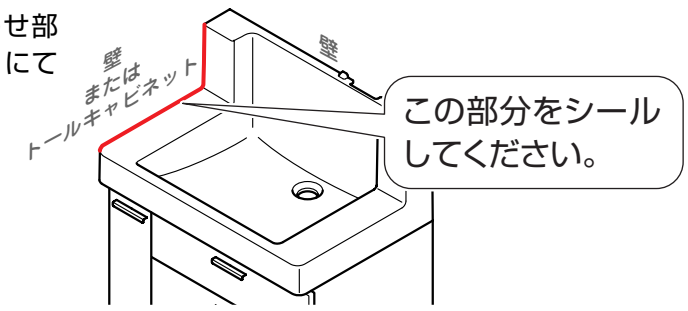


❾体重計台車のセット
（LDSN60＊＊＊H型～LDSN75＊＊＊H型タイプの場合）
化粧台の施工完了後に台車をセットしてください。
●収納したときに蹴込板と面一になっているか確認してください。
●マグネットキャッチが効いているか確認してください。
（効いていない場合はマグネットキャッチの固定ねじをゆるめ調整してください。）



壁やトールキャビネットとの処理方法

●洗面ボウルと壁の突き合わせ部をメジシール（YG902S）にてシールしてください。

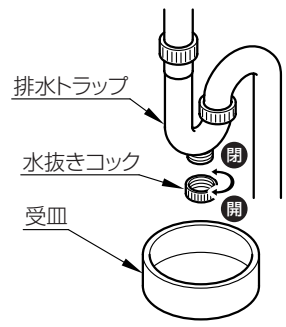


寒冷地タイプの水抜き

●寒冷地タイプの場合は器具内の水を抜くため、水抜きコックを設けております。
凍結のおそれのある時期に施工された場合は、別途設備された水抜栓の操作と合わせて、次の要領で水抜きをしておいてください。
また、お客様にも水抜方法をご指導ください。

【水栓の水抜き】
水栓の水抜きについては、水栓金具の施工説明書を参照してください。

【排水トラップの水抜き】
❶水受けの容器を置き、排水トラップの水抜きコックを開けてください。
❷水抜き後は、必ず水抜きコックを手締めで確実に閉じてください。（工具は使用しないでください。）



取付完了後の確認と清掃

●キャビネットが壁に確実に固定されていることを確認してください。
●扉や引き出しの傾き・がたつきなど丁番やねじのゆるみがないことを確認してください。
調整要領は扉裏面に張り付けのラベルを参照ください。
●通水し、配管接続部に水漏れがないことを確認してください。
●製品についた汚れ（プラスチック部品の静電気による黒い汚れを含む）は、ぬれた布をかたくしぼってふき取ってください。
その後、水を湿らせた布に少量の中性洗剤をつけてふき上げ、最後にからぶきしてください。
シンナー・ベンジンなどの使用は表面の変色・変質の原因となりますので、絶対に使用しないでください。
●直射日光にさらされる場合は必ずカーテンなどでさえぎってください。